

ふだんの活動に
プラスON
交通安全・防犯協働事業

2024年度
実施報告書

2025年1月

編集 町田市地域活動サポートオフィス

ふだんの活動にプラスON 交通安全・防犯協働事業 実施報告

「ふだんの活動にプラスON交通安全・防犯協働事業」は、地域で活動するみなさまが、ふだんの活動に交通安全や防犯をプラスONした企画を実施する事業です。実施にあたっては、町田市市民生活安全課からの委託を受け、町田市地域活動サポートオフィスが支援を行いました。

◆事業実施団体数16団体

◆事業実施件数17件(交通安全16件、防犯8件 *うち交通安全と防犯両方の実施7件)

◆事業実施期間

2024年9月～12月

(9/21～30「秋の全国交通安全運動」、10/11～20「全国地域安全運動」、12/1～7「TOKYO交通安全キャンペーン」の期間中及びその前後)

◆事業の目的・大切にしたいポイント

「WIN-WINの企画実施」

- ・実施団体:本事業に参加することで、新たなプログラムの導入、広報の実施、今まで行ったことがない場所での実施など、活動の幅を広げるチャンスを得る。
- ・町田市市民生活安全課:団体と協力することで普段アプローチできない方の交通安全・防犯の意識向上を実現でき、安全安心のまちづくりを推進する。
- ・町田市地域活動サポートオフィス:プラスON事業のサポートを通じて、町田市地域活動サポートオフィスのビジョンである市内団体の活性化の達成や市内団体とのネットワークづくりを実現する。

◆スケジュール

- ・2024年4月～ エントリー受付開始
- ・2024年9月～12月 事業実施
- ・2025年1月26日(日) 実施報告会開催(町田市役所2階市民協働おうえんルーム)

◆実施報告ホームページ

各団体が実施した事業の報告を町田市地域活動サポートオフィスホームページに掲載した。

【まとめ】「ふだんの活動に”プラスON” 交通安全・防犯協働事業」

(以下のURLおよび二次元バーコードよりご覧いただけます)

<https://machida-support.or.jp/report/performance/pluson02024/>



2024年度 実施内容一覧

番号	開催日	団体名	交通安全/ 防犯	実施事業題目	参加 人数
1	9/22(日)	もこもこフェスティバル①	交通安全/ 防犯	市民防犯あんぜんワークショップ/ 反射キーホルダー・髪ゴムワークショ ップ	40名
2	9/22(日)	慶應義塾大学町田三田会	交通安全/ 防犯	映画「ひとにぎりの塩」チャリティー上 映会で防犯講話・交通安全講話	85名
3	9/27(金)	コミュニティサロンばんば	交通安全/ 防犯	交通安全&防犯ミニ講座とオリジナ ルポイントカード制作	6名 (200部)
4	9/29(日)	丸山子ども会	交通安全	ハロウィンウォークで交通安全啓発	66名
5	10/2(水)	陽だまりカフェ	交通安全	ご高齢の皆さんのための交通安全	11名
6	10/4(金)	小山田桜台まちづくり協 議会	交通安全/ 防犯	交通安全ミーティング+特殊詐欺撃 退セミナー	24名
7	10/5(土)	特定非営利活動法人アス レチッククラブ町田	交通安全	ひかる缶バッジをつくろう!	36名
8	10/5(土)	TENT成瀬	交通安全	ツナガルナルセビアガーデン「交通安 全謎解きクイズ」	61名
9	11/2(土)	株式会社ポートエモーショ ンらぶふあみ	交通安全	まちだイモノ〇ごと祭「交通事故予 防の啓発活動」/らぶ♡ふあみ誌面啓 発	250名 (16000部)
10	①11/30(土) ②12/6(金)	はたつく研究所	交通安全	反射材ワークショップ/小冊子「ここち よくくらしはたらくブック」で交通安 全啓発	50名 (500部)
11	11/30(土)	NPO法人太陽の村	交通安全	太陽かあさんと一緒に交通安全～缶 バッジ作り	50組/ 100名
12	①11/3(日) ②11/30(土)	町田いぬねこ守り手ネット ワーク	交通安全/ 防犯	ドライバーの交通安全・反射バッジ作 り・お散歩しながら防犯	141名
13	11/30(土)	もこもこフェスティバル②	防犯	防犯講座☆私にもできる安心の輪	24名
14	①11/2(土) ②12/7(土)	一般社団法人OMUSUBi	交通安全/ 防犯	いかのおすし紙芝居と光る缶バッジ づくり	40名
15	12/17(火)	鎌倉古道・歴史遺産の会	交通安全	「古道ウォーク&交通安全講話」	33名
16	12/27(金)	南大谷子どもクラブMO こもこ	交通安全/ 防犯	～スマホ・ネットの安全な使い方のお 話とオリジナルホイッスル作り～ 反射材の効果のお話し	16名
17	2025年1月	みずきの家デイサービス	交通安全	電柱広告設置～町田の方言で安全啓 発	なし (電柱広告 設置のため)
◆事業実施団体数16団体 ◆17件(交通安全16件、防犯8件 *うち交通安全と防犯両方の実施7件)					累計 983名

1 交通安全 / 防犯 「市民防犯あんぜんワークショップ」 / 反射キーホルダー・髪ゴムワークショップ

団体名：もこもこフェスティバル	プラスON 防犯対策の展示、防犯ブザー 取り組み：体験、反射材WS
開催日：9/22(日)	参加者：40名

実施概要：
生涯学習センターにて、反射材を使ったキーホルダーと髪ゴムを作るワークショップを実施。反射材を身に着けることによる安全性を来場者に伝えた。また、自団体がこれまで学習してきた市民防犯に関するポイントをまとめた展示を行った。さらに防犯ブザー体験として、最強の防犯ブザーといわれる「アラームメイト」と町田市内の小学生に配布されている防犯ブザーを実際に体験してもらった。

感想・参加者の様子等：

- ・防犯ブザーの体験が特に好評だった。初めて触った、鳴らした人がたくさんおり、実際に手に取り体験してもらうことで重要性を認識してもらえた。
- ・防犯ブザーが思ったよりも大きい音が出ることに驚いていた。
- ・来場者一人ひとりとうっくり向き合いお話できたことが良かった。

サポートオフィスより：
防犯ブザーの体験や、反射材のワークショップなど、企画内容についてメンバーの皆さんで準備を重ねているのが印象的でした。模造紙の展示やブザーの紹介などもわかりやすくまとめられていました。



2 交通安全 / 防犯 映画「ひとにぎりの塩」チャリティー上映会で防犯講話・交通安全講話

団体名：慶應義塾大学 町田三田会	プラスON 防犯講話、交通安全講話 取り組み：反射材キーホルダー配布
開催日：9/22(日)	参加者：85名

実施概要：
能登半島地震支援企画として、チャリティー映画会を開催。上映前に特殊詐欺と交通安全について市民生活安全課の担当者による講話を実施した。内容としては、町田市内の特殊詐欺被害の現状とその防犯対策、自転車の罰則としてスマホ運転や酒気帯び運転の取り締まりが強化されること、自転車ヘルメット助成についての情報提供など。来場者アンケートを実施したところ、多くの方から「参考になった」「本日から防犯の意識を高めて取り組んでいく」等の回答があった。参加者には記念品として反射材マジックテープ型キーホルダーを配布した。

感想・参加者の様子等：

- ・来場者の80%が60歳以上の高齢者でマスコミでニュースとなっている強盗等、身近な事件が発生している世間情勢があり皆さん自分の事と真剣に耳を傾けていました。

サポートオフィスより：
上映会の機会に講話を実施することで、多くの市民の方に話を聞いてもらえる機会となりました。啓発チラシやグッズについては事前に内容を確認し、袋詰めして準備されていました。特殊詐欺対策の啓発は来場者層にマッチしており大変有効だと感じました。



3 交通安全 / 防犯 交通安全&防犯ミニ講座とオリジナルポイントカード制作

団体名：コミュニティサロンばんば	プラスON 啓発記事を入れた、オリジナルポイントカードを作成
開催日：9/27(金)	参加者：6名

実施概要：
下馬場町内会館で定期開催されている「コミュニティサロンばんば」主催のおしゃべり会。参加者向けに、スタンプが押せるポイントカードを200部作成した。全8ページの冊子の最後の見開き2ページに、防犯と交通安全について、高齢者向けの注意点を記載した。配布初日のおしゃべり会では、サポートオフィススタッフがミニ講座を実施。参加者には反射キーホルダーと靴シールも配布した。

感想・参加者の様子等：

- ・ポイントカードのデザインが目を引き好評だった。
- ・体験談をお互いに聞き合いながら、地域防犯について考える機会となった。
- ・今後も継続的にサロンに参加される方にはポイントカードを配布していく。その都度、啓発ページについても案内したいと思う。

サポートオフィスより：
コミュニティサロンばんばのように、近隣地域住民が定期的に集い、おしゃべりや情報交換をする機会があると、困ったときや不安なときに相談できる関係性ができますね。地域での顔の見える繋がりは、有効的な防犯対策のひとつだと思います。



4 交通安全 ハロウィンウォークで交通安全啓発

団体名：丸山子ども会	プラスON 交通安全クイズ、反射キーホルダー配布
開催日：9/29(日)	参加者：66名(一般子ども35名、大人23名、子ども会子ども6名、大人2名)

実施概要：
イベント開始前に、サポートオフィスよりクイズ形式で交通安全のお話を実施。大人も子どももよく聞きながらクイズにも挑戦した。その後のウォークラリーにおいて、自発的に「横に広がらない」と声を掛け合う姿や、横断歩道で手を挙げて渡る姿が見受けられた。「自分たちで安全に気を付けながら楽しむ」ということができた。反射キーホルダーも早速身に着ける子もいて好評だった。

感想・参加者の様子等：

- ・クイズでは「大人の方へって言ってるよ」と子どもから保護者に話を聞くように促す姿も見られた。
- ・「スタンプラリーで歩く時も、みんな気を付けており、講話のタイミングもバッチリでした！自転車のルールも5年生の子もよく聞けていてありがたかったです。」という感想をもらった。

サポートオフィスより：
ウォーク開始前に、交通安全についての話を聞いたことで、すぐに意識を向ける子どもたち。親子で一緒に確認できるのも良い機会ですね。クイズはダウンロードもできます。ぜひ今後も子ども会の企画で啓発をしていただけたらと思います。



5 「ご高齢の皆さんのための交通安全」

団体名：みんなの居場所 陽だまりカフェ	プラスON 交通安全ミーティング、啓発 取り組み：パンフレット制作
開催日：10/2(水)	参加者：11名

実施概要：

成瀬台にある、みんなの居場所陽だまりカフェで「ご高齢のみなさんのための交通安全」と題してイベントを実施。2024年3月より開催している「地域で支える認知症セミナー」の「フォローアップセミナー」として開催した。町田警察より講話ののち、市民生活安全課の進行で、グループに分かれて話し合う交通安全ミーティングを実施。講話を受けて「大事だと思ったこと」「他の人に伝えた方が良かったこと」を発表。当日の様子やキーワードを陽だまりカフェのパンフレットに掲載した。

感想・参加者の様子等：

- ・ディスカッションでは参加者が交通事故に対して日頃感じていることも多く、活発に発言されていた。
- ・活発な質問や議論が展開され、一方通行の講演会より遥かに学びが多かったように感じる。

サポートオフィスより：

対話形式で参加者の方と積極的に意見交換ができました。陽だまりカフェのパンフレットへの掲載によって、今後来店されたお客様やお店に関わる方に、継続的に交通安全の啓発情報を届けていただくと嬉しいです。



6 交通安全/ 防犯 交通安全ミーティング+特殊詐欺撃退セミナー

団体名：小山田桜台まちづくり協議会	プラスON 交通安全ミーティング、特殊 取り組み：詐欺セミナーの開催
開催日：10/4(金)	参加者：24名

実施概要：

小山田桜台地域の全管理組合・自治会に向けてチラシを配布(1600戸)し参加を呼びかけ実施。初めに、特殊詐欺撃退セミナーとして市民生活安全課より詐欺の手口や対策の話があった。その後、交通安全ミーティングとして町田警察講話の後、市民生活安全課の進行でグループワークを実施。話し合いでは活発な意見交換がなされ、歩行者から自転車への注意の仕方などへの疑問なども寄せられた。

感想・参加者の様子等：

- ・「知らなかったことがいくつかあり参加してよかったです」等の感想がありました。
- ・グループワークを行ったので、参加人数は丁度よかった。今後は管理組合・自治会単位で開催する方が良いかもしれない。

サポートオフィスより：

ディスカッションでは、地域の皆さんが日ごろ課題に感じている点が具体的に挙がりました。チラシを全戸配布できる強みなどを活かして、今後も定期的に勉強会や啓発を続けていただければと思います。



7 交通安全 ひかる缶バッジをつくろう！

団体名：特定非営利活動 法人アスレチック クラブ町田	プラスON 反射効果のある缶バッジ作り 取り組み：のワークショップ
開催日：10/5(土)	参加者：36名（大人10人、子ども26人）

実施概要：

小野路グラウンドの中にあるクラブのロッカールームで「ひかる缶バッジをつくろう」を実施した。当日はあいにくの雨天だったが、バッジ制作コーナーにはたくさん子どもたちが集まった。缶バッジはゼルビー君・数字・英単語をモチーフにしたデザインから好きなものを選び、色を付け、最後に反射効果のあるスプレーを吹き付けて完成させた。スプレー式の反射材を適用することにより、完成した缶バッジの見た目のままとなり、子どもたちが喜んでいた。

感想・参加者の様子等：

- ・想定よりも参加者が一度に多く来てしまう時間帯があり、交通安全について啓発活動が不十分な点もあった。
- ・参加者アンケートでは「夜は車からも目立つようにしたいと思う」という声があった。

サポートオフィスより：

クラブに通っている子どもを中心に多くの参加者にぎわっていました。今回の企画をきっかけに一人でも反射材について知り、身につけてもらえたらと思います。缶バッジメーカーやスプレーを今後もイベント等で活用してください。



8 交通安全 ツナガルナルセビアガーデン 「交通安全謎解きクイズ」

団体名：TENT成瀬	プラスON 交通安全謎解きクイズの実施、 取り組み：近隣施設との連携
開催日：10/5(土)～ 10/31(木)	参加者：61名（子ども31名、大人30名）

実施概要：

成瀬駅前定期開催しているイベント「ツナガルナルセ」で交通安全をテーマとした謎解きイベントを実施。参加者が互いに協力し、コミュニケーションを取りながらクイズを解いていた様子が印象的だった。自転車販売の「ダイワサイクル成瀬店」と協働し、クイズの検討および設置を行った。また、「アロハスマイル保育園」にもご協力いただき、自転車を使って送迎する子育て世代にもリーチした。町田市の自転車用ヘルメット購入補助事業の認知度向上を目指し、申請時に視聴が条件となっている啓発動画をクイズに含んだ。反射材キーホルダーを参加賞として配布した。

感想・参加者の様子等：

- ・親子で答えを確認し合う様子が見られた。親が子どもに交通安全を教えるきっかけづくりができたのではないかと考える。
- ・動画を連続放映したことで、コワーキングスペースやシェアキッチンの利用者など幅広い層に啓発できたと考える。

サポートオフィスより：

交通安全啓発というテーマをきっかけに、近隣施設との協働が生まれ、更に本事業にも繋がるというプラスONらしい効果だと感じました。ヘルメット申請周知も適用条件などを理解した上での企画で、より啓発効果が高まりました。



9
交通安全

まちだイイモノ〇ごと祭「交通事故予防の啓発活動」/らぶ♡ふぁみ紙面啓発

団体名：株式会社ポートエモーションらぶふぁみ	プラスON 反射材チラシと靴シールの配 取り組み： 布、らぶ♡ふぁみ紙面に啓発
開催日：11/2(土)	参加者：250名（冊子16000部）

実施概要：

まちだイイモノ〇ごと祭2024の出展ブースにて、交通事故予防の啓発活動を実施。アンケートに答えた方に、反射材の効果を伝えるチラシと、靴に貼ることが出来る反射シールのプレゼントを実施。小雨もぱらつくお天気だったが、会場では多くの方が足を止めて説明を聞いていた。当日のレポートとして12月発刊のフリーマガジン「らぶ♡ふぁみ」(16,000部発行)の誌面に記事を掲載。反射材の効果や町田市の交通安全啓発動画についてまとめた。

感想・参加者の様子等：

子どもには明るい色の服や反射材がついたカバン等を持たせるなど、気を付けている方も多いと思いますが、パパママ自身はどうでしょうか。交通事故防止のためにも、「反射材をつける！」を習慣にしてもらえたらと思います。

サポートオフィスより：

市内で行われる大きなイベントの出展にプラスONした企画で、多くの方の方に反射材の情報をお届けできたと思います。今後も、らぶ♡ふぁみさんのこれまでの活動やネットワークを活かして、多くの子どもやパパママの安全について情報発信していただけたら嬉しいです。



10
交通安全

反射材ワークショップ/小冊子こちよくくらしはたらくブック」で交通安全啓発

団体名：はたつく研究所	プラスON 反射材ワークショップ実施、 取り組み： 冊子で交通安全啓発
開催日：①11/30(土) ②12/6(金)	参加者：①ワークショップ50名、冊子配布①②合計100名

実施概要：

①まちカフェ！で乳幼児親子向けに「おしごとなりきりコーナー」を実施。衣装を着て撮影する親子に、参加賞として反射材を配布。シールを貼り付けてオリジナル反射材を作成できるキットをその場で制作する親子もいた。反射材についての効果チラシも合わせ保護者に配布した。

②団体が発行した冊子「こちよくはたらくBOOK」内に「子どもと家族を守るための自転車の交通安全ルール」の記事を作成し掲載した。反射材の効果や重要性、自転車保険の加入について、市の交通安全啓発動画などの情報もまとめた。冊子はイベント参加者を含む100名へ配布した。印刷は500部したので今後も、団体が実施するイベントの参加者には継続して配布していく。

感想・参加者の様子等：

・啓発記事を作成する作業を通して、メンバー自身もあらためて交通安全について意識を高める機会となった。

サポートオフィスより：

記事を作成するという事で、まず団体自身が交通安全について考えるきっかけとなったと思います。冊子を通して今後も継続した啓発が期待されます。「子どもと家族を守るための自転車の交通安全ルール」はHPよりダウンロードできます。



11
交通安全

太陽かあさんと一緒に交通安全～缶バッジ作り～

団体名：NPO法人 太陽の村	プラスON 缶バッジ作りワークショップ、 取り組み： 反射材配布
開催日：11/30(土)	参加者：約50組（約45組未就学～小学生、約5組大人）

実施概要：

太陽の村のキャラクター「太陽かあさん」のイラストの周りに自由に色鉛筆で色を入れたり、絵を描き加えて缶バッジにする企画を実施。リフレクトシート5色用意し短冊状にし、啓発チラシと一緒に配布した。子どもたちは思い思いに自分の好きな色を選んでいった。「反射シートはどこで買えますか？」という質問もあり、今回の企画を通して反射材に関心を持ってもらうことが出来た。未就学のお子様の参加も多く、早期の交通安全教育に繋げることができた。

感想・参加者の様子等：

・シール状のリフレクトシートを選択したので、ベビーカーなどすぐに活用できる状態で提供できたのは良かった。
・反射板がどこで手に入るものかという質問もあり、関心度は高いかもしれないと感じた。

サポートオフィスより：

子どもたちに人気の缶バッジ作りをきっかけに交通安全の啓発に繋がっていただきました。リフレクターシールの特性と缶バッジを掛け合わせて今後も子どもたちに向けて、交通安全の啓発をしていただければ嬉しいです。



12
交通安全 /防犯

ドライバーの交通安全/反射バッジ作り/お散歩しながら防犯

団体名：町田いぬねこ守り手ネットワーク	プラスON オリジナルチラシ作成、反射 取り組み： 缶バッジワークショップ
開催日：①11/3(日)、 ②11/30(土)	参加者：①約30名、②111名

実施概要：

①「まちだ動物愛護フェスタ」と②「まちカフェ」にて交通安全と防犯についての啓発チラシを作成し配布。ただ手渡すだけでなく、一人ひとりに質問をしたり対話をしたりしながらコミュニケーションを重視した。特に、動物を通じて親しみを持つ内容を大切にすることで、動物が好きな方々の関心に響くよう工夫した。反射材シールを使った光るオリジナル缶バッジ作りのワークショップでは作製の合間にチラシを見ていただき、質問や会話を交わしながら安全運転や防犯の重要性を伝えた。

感想・参加者の様子等：

安全運転では「猫」の特性を盛り込みました。知っていただけでしたがまず第一歩になったと思います。ワークショップ参加者とゆっくりお話をしながら啓発できたのが良かったです。

サポートオフィスより：

動物が好きな方に届くようにと工夫を凝らした目を引くチラシが完成しました。作成に際して、市民生活安全課のレクチャーで知識を深められていました。守り手ネットワークさんが制作したチラシはHPよりダウンロードできます。



13 防犯

「防犯講座☆私にもできる安心の輪」

団体名：もこもこフェスティバル	プラスON 防犯講演会 取り組み：
開催日：11/30(土)	参加者：24名（乳幼児～70代）

実施概要：

市民協働フェスティバルまちカフェ！当日、市民防犯インストラクターの武田信彦氏の講演会を開催。1時間の講義の後、30分間個別質問の時間を設けた。子連れでの参加者も多く、子どもも大人も和気あいあいとした楽しい雰囲気だった。戸締りを強化する、鍵をかけ忘れない、防犯ブザーを持つ、一人にならないなど具体的な実践方法を教わった。地域で市民がすぐに実践できる内容で大変好評だった。受講者の年齢がバラバラだったが具体的な事例をもとにわかりやすく話していただいた。

感想・参加者の様子等：

- ・先生の語り口が軽快で面白く、子どもたちも飽きることなく楽しく聞いていました。
- ・「家族に共有したい」「周りに伝えたい」という声が聞かれ、企画を実施してよかったと思いました。

サポートオフィスより：

もこもこフェスティバルのみなさんが一度聞いて感銘を受けた武田先生の講演会を、よりたくさんの人に届けたいということで企画を実施しました。今後も防犯を地域に広げていくことをテーマに活動されていくとのこと。地域や他の団体とのコラボも期待です。



14 交通安全 /防犯

いかのおすし紙芝居と光る缶バッジづくり

団体名：一般社団法人 OMUSUBi	プラスON いかのおすし紙芝居、反射缶 取り組み：バッジワークショップ
開催日：①11/2(土) ②12/7(土)	参加者：①10名②30名(小学校1～4年生とその保護者中心)

実施概要：

冒険遊び場および子ども食堂に来てくれた子どもに、「いかのおすし」の紙芝居と自分で作った絵を入れた反射材入り缶バッジの作成を行う企画を実施。全工程をOMUSUBiの活動を支援してくれている玉川大学のボランティアサークル（無果汁Juicys）が行った。大学生のお姉さん、お兄さんがわかりやすく接してくれたこともあり、子どもたちの反応もとてもよく、紙芝居への感想を述べあったり、缶バッジを楽しんで作る姿が印象的だった。

感想・参加者の様子等：

- ・「かばんと服に付ける！」「お出かけ用のかばんとランドセル用につけたい！」と複数作成する子がいたり、親御さんも「絶対つけよう！取らないでね！」と夜道を心配して話をする様子があったりと、イベントの目的が実感できて大変うれしかった。

サポートオフィスより：

缶バッジは何度も試作しながら工夫をして準備していたことが印象的でした。紙芝居も反射材の効果についても、大学生スタッフがまず知り、当日は伝える側になって活躍していました。今後も子どもたち交通安全や防犯について伝えていただけたら嬉しいです。



15 交通安全

「古道ウォーク&交通安全講話」

団体名：鎌倉古道・歴史遺産の会	プラスON ウォークイベントの前にスタ 取り組み：ッフによるミニ講習を実施
開催日：12/17(土)	参加者：33名

実施概要：

古道ウォークの開始前に、担当運営委員の東野が、交通安全のミニ講習を実施。「意外と知らない交通ルール」のパンフレットを使用しQ1～Q7を説明と解説を実施した。【まだ渡れるはもう危ない】【ご近所こそ油断大敵】【自転車も乗れば車の仲間入り】の標語を強調。そして締めくくりの言葉として「まみむめも」のキーワードを披露した。ま=待つ み=見る む=無理をしない め=目立つ も=もっと知る。わかりやすい言葉が参加者の印象に残ったようだった。参加の記念品として反射材キーホルダーを配布した。

感想・参加者の様子等：

- ・自転車の交通法規が改定されており、皆さんの意識は以前より高まっているが、実際のところは行動で出来ているかというところ、まだまだの状態。今回のミニ講習が少しでも役だったのではと自負しています。

サポートオフィスより：

プラスON事業に3年連続された東野さん。企画を重ねるごとに交通安全や防犯について詳しくなり、ご本人からスタッフ、イベント参加者へと啓発の輪がひろがっています。ウォークイベントとの親和性も高く、参加者の方も注意して歩くことができました。



16 交通安全 /防犯

～スマホ・ネットの安全な使い方のお話とオリジナルホイッスル作り～ 反射材効果のお話し

団体名：南大谷子どもクラブMOこもこ	プラスON スマホとネット防犯講座、防 犯ホイッスルのワークショップ 取り組み：プ、冬休みの交通安全講座
開催日：12/27(金)	参加者：16名

実施概要：

スマホ・ネットの安全な使い方について、講師としてネットforシニアの清水静香氏の講演を実施。子どもたちの間で起こる可能性のあるスマホトラブルの事例を動画視聴後、気を付けることや感想等を話し合った。大人向けには子どもにスマホを使用させる際のポイントやLINEの設定についてもレクチャーがあった。終了後は、防犯ホイッスル「ヘルピー」のデコレーションをするワークショップを実施。子どもたちは各々好きなシールなどを貼って楽しんでいました。冬休みの交通安全ルール、反射材の効果についても伝えました。

感想・参加者の様子等：

- ・講師とやり取りしながら考える内容だったので、子どもたちからも様々な声や意見があがった。
- ・充実した内容で、最後まで集中して聞くことが出来ていた。

サポートオフィスより：

スマホ・ネットに関する防犯講座は子どもたちの関心も高く、大切な内容だと感じました。お話を聞いた後にワークショップのお楽しみがあるというスタイルで、子どもたちも集中して参加できていました。



団体名：みずきの家 デイサービス	プラスON 見通しの悪い交差点に、安全 取り組み： を啓発する電柱広告を掲示
開催日：2025年1月末 設置	参加者： なし(電柱広告設置のため)

実施概要：

ふだんの送迎活動で使用している道路の中で危険と感じている、鎌倉街道の裏道にある見通しの悪い特定の交差点に、カーブミラーや警察の立て看板を引きたてるように町田の方言を組み込んだ電柱広告を掲示した。広告には「ここ急いでもどっちこっちゆっくり走ろう」「もうちょっとよく周り見て」という言葉を記載した。地域愛を育てながら、通行する地域内外の運転者・自転車走行者・歩行者へ向けた交通意識改善と注意喚起を図っていききたい。

感想・参加者の様子等：

普段の【ながら活動】では不法投棄ゴミ廃棄、放置自転車・倒木等の通報、道ピカ活動、町ピカ活動、防犯ボディパネル走行、街灯設置署名活動等を実施しています。これに加えて、地域防犯・地域安全に繋がればと願っています。

サポートオフィスより：

長年デイサービスや訪問介護事業をしながら様々な地域防犯活動をボランティアで続けているみずきの会。電柱広告には、デイサービス利用者さんの話す言葉をヒント、ドライバーが目を引くデザインを考えました。



■実施報告まとめページ■

各団体が実施した事業の報告をサポートオフィスホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください。



■交通安全・防犯啓発活動についての情報まとめページ■

過去3年間にプラスON事業で活用したデータや資料を一覧にまとめました。また、各団体が制作した啓発資料や、データもこちらからダウンロードしてご利用いただけます。今後も団体のふだんの活動で啓発企画を実施する際は、ぜひ活用ください。

